

passo

031

工賃倍増プロジェクト

2010/12.1 - 12.31

ぱっそ

up!

passo

a

passo

工賃倍増プロジェクトとは

授産施設等で働く人たちの工賃を5年間で倍増しようという大阪府のプロジェクトです。「もっと収入を」「もっと働く機会を」という願いを実現するため、施設、企業、地域をつないでいきます。

※passo(ぱっそ)とは、イタリア語でステップという意味です。

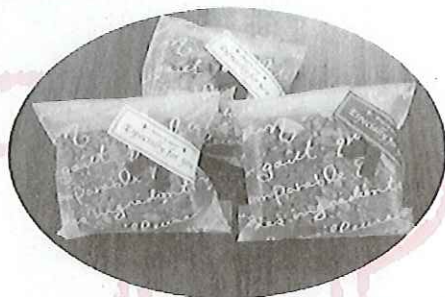
今回は堺市にある第2ほくぶ障害者作業所さんをご紹介します。

朝10時、各班の朝礼がはじまります。朝礼で今日一日の仕事を確認したら作業に取り掛かります。作業場では慣れた手つきで利用者さんたちが作業を進めています。それぞれが自分の仕事を一生懸命に取り組んでいる姿が印象的でした。

1999年からクッキーの作業をはじめ、もうすぐ丸12年。クッキーをはじめられたきっかけは、それまで取り組んでおられた内職作業が減ったことで何か新しい仕事をと考えられたからだそうです。新しいことへのチャレンジというのは苦労も多かったそうですが、今ではすっかり施設の中心作業になったそうです。利用者さんたちもクッキーづくりに自信を持っておられます。力がついて、技術が高まることで次の仕事への意欲もわき、新しい商品に積極的に取り組んでいると考えられています。

社会福祉法人コスモス 第2ほくぶ障害者作業所
〒591-8011 堺市北区南花田町 532-3
TEL / FAX 072-254-3292

しかし実際に取り組んでみて利用者さんが関わりにくいもの、施設職員が手を加える場面が多いようなものは商品化はしないそうです。作業の中心はあくまで利用者さんであるということも大切にされています。そんな中で最近の新商品の一つが“ミューズリーリーゲル”です。日ごろ職員の方が商品のアイデアを得るためにいろんなところへ研修に出かけられるそうですが、これは横浜市で開かれたドイツパンの講習会で作り方を教わったものだそうです。施設に帰ってから利用者さんが工程にかかわれるよう工夫し商品化されました。その甲斐あって、昨年度の大阪府授産製品コンペティションで優秀賞を受賞。こうして利用者さんが心を込めて手づくりしているクッキーですが、販路をもっと増やしたいというのが当面の課題ということです。現在はバザーや出店などでの販売が中心ですが、おいしいクッキーをもっとたくさんの人に届けたい、そんな思いで販路開拓をされています。



第24回 カフェ

今回のカフェは、大阪市阿倍野区にある就労継続支援B型シルフの五百蔵（いほろい）敏之さんをゲストスピーカーとしてお招きし、平均工賃月額が、16,868円（平成20年度）から27,705円（平成21年度）と大きく伸びた秘訣、地域との関わりなどを中心にお話していただきました。

平成14年8月から小規模通所授産施設としてオープン。平成18年10月に新体系移行し、パン、さわりを中心に製作しています。わずか1年で大きく工賃アップした理由の一つに販売ルートの確保があげられます。近隣の小学校、区社協、特養などで定期的に販売をしているとのこと。その営業方法は、飛び込みでお願いしに行くこともあるそうですが、区役所などで配布している特養などのリストを見て、電話営業をするそうです。そして、こういったところに電話する際に、施設長ではなく、栄養士さんに営業をかけるそうです。この発想にはびっくり！まず、毎日の食事管理をしている栄養士さんに、パンの良さを知ってもらって売り込むというのは確かに良いアイデアだと思います。

11月18日（木）

参加施設数：13施設 参加人数：14名

場所：大阪市教育会館（アネックスパル法円坂）

工賃の考え方も、アップに繋がった要因の一つと考えられます。「売上高－費用＝工賃」ではなく、「工賃＝売上高－費用」と考え、目標を明確にすることで、目指す工賃額にはどれぐらいの売上が必要かを、取り組む人にもわかりやすく、伝わりやすくしています。

パンの製造は、職員中心から徐々に利用者さん主体へとシフトしていったそうです。失敗することもあります。その失敗をいかに成功に結びつけるか、そこを職員さんがサポートしています。利用者さんにわかりやすく、実際に良い例と悪い例を見てもらって、実感してもらう。そこをうまくサポートすることで次は成功する。すると、それは自信につながり、仕事の意欲に結びつくのだと思います。今ではほとんどの作業を利用者さんだけで行い、その手づくりの温かみが売り



でもあります。工賃アップは、お金のアップだけではなく、新しい人や場所と出会って良い意味での刺激を受け、心も豊かになるものなのかもしれません。

CCA応募の締切り間近！！

工賃倍増計画推進事業
**Challenged
Creative
Award2010**

CCA応募(授産製品コンペティション)作品の申し込み締切りまで1ヶ月を切りました！
今回のコンテストの特長はその審査方法。雑貨部門は一般市民100人が審査員！
スイーツ部門は製菓専門のパティシエが審査員！まずは、お申し込みを！！

雑貨部門

雑貨部門(縫製・陶芸・木工・紙製品・皮革製品・トールペイント・アクセサリなど)の予備審査については、“売っていたら欲しいもの”を一般市民100人が審査します。

一般審査員・・・街を往く老若男女100人

+

選任審査員①・・・雑貨ショップ、陶器販売店、木工関係など、各作品の販路開拓につながる関係者

+

選任審査員②・・・利用者さんのかかわり度を中心に評価する福祉関係者



その総合得点により上位10作品が本審査に進みます。

※応募作品は、1月4日から13日まで受付。

スイーツ部門

スイーツ部門(クッキーのみ)の予備選考は、製菓専門の技術者を中心に段階的に審査します。

基本要素・・・生地、焼き加減、味、歯ごたえ、後味などを製菓専門技術者が評価



応募作品・・・製菓専門技術者・市民代表10人
利用者さんのかかわり度を中心に評価する福祉関係者



パッケージ・・・製菓専門技術者・市民代表10人
利用者さんのかかわり度を中心に評価する福祉関係者



その総合得点により上位10作品が本審査に進みます。

※応募作品は、1月下旬受付。

★受賞した作品は翌年度のさまざまなイベントなどで展示即売会を予定しています。

応募状況、予備選考の状況はpassoにてお知らせします！

大阪府工賃伸び率全国第7位

2009年度(平成21年度)の全国都道府県の平均工賃月額が発表されました。
全国平均は12,695円(最高は福井県の16,621円、次いで佐賀県の16,358円)。
残念ながら大阪府は8,931円で、全国で最も低い数字となりましたが、2006年度(平成18年度)と比べた伸び率で見ると、全国平均4%に対して、大阪府はそれを大きく上回る11.8%で全国第7位となりました。もともと大阪府には、他県に比べて、親など市民の手で設立された小規模な事業所が多く、スケールメリットが得にくい事情があります。まして厳しい不況が続く中であってこの数字は高く評価されるべきでしょう。とはいえ、「工賃倍増」という掛け声にはほど遠いのも事実。

作業所を訪問すると、「(下請けの)取引先が廃業してしまった」、「仕事が外国へ行ってしまった」など、厳しい声が次々に伝わってきます。しかし、身近にはいろいろなチャンスが転がっています。「不況」を「転換期」ととらえ直し、企業や地域との関係づくりを進め、「エコ(環境問題)」、「安全衛生」、「高齢化」、「癒し」など世の中のトレンドに沿った役割で仕事を積極的に開拓していきましょう。

作業所で働く障がい者の収入の向上と社会参加をめざして始まった工賃倍増5か年計画(2007～2011年度)も今年で4年目。大阪府工賃倍増プロジェクトはますますパワーアップして、大阪府内約800作業所と約2万人の利用者を支援してまいります。

月額工賃上位県	
県名	月額工賃(円)
福井県	16,621
佐賀県	16,358
徳島県	15,906
北海道	15,760
岩手県	15,579
全国平均	12,695

工賃伸び率上位県 (H21/H18)	
県名	伸び率(%)
山梨県	29.8
和歌山県	18.9
長野県	16.4
福島県	15.1
新潟県	13.5
長崎県	11.9
大阪府	11.8
全国平均	4

大阪のメインストリート・御堂筋を歩行者天国にする秋の恒例行事「御堂筋 kappo2010」が10月10日開催され、5つの作業所さんが出店しました。出店されたみなさんの声をひとつひとつ紹介します！

『さっき、食べたらほんとにおいしくて驚きました。ばななケーキが売り切れそうなのでもう少し買いに来ました』と再度足を運んでいただいたお客様もいました。4時間の販売で3万円の売上があり利用者の工賃アップにつながりました。(サニー・サイト)

たくさんの方が足を止めて商品を見ていただいたことがとてもうれしかったです。

地元でばかり売っているの、雰囲気も全く違い、いろいろ勉強になりました。(下出作業所)



さまざまな年齢層のお客様との接客はとても楽しく、一度買ってください方がもう一度会に来てくださったり、試食して「あ、おいしい！」と何種類かのクッキーを買ってくださいたり。途中、試食が足りなくなっていくつかの商品をあけて提供しました。ハロウィンのパッケージが人目を引き、完売しました。(ふれあい工房)

“たまねぎクッキーがめずらしい”と一番早く売れてしまいました。もっとたくさん作るべきでした。でも、持ってきた110個はおかげさまで完売することができました。(ワークセンターぼけっと)



食品だけの出店は初めてだったので、ちょっと欲張って多めにクッキーを持っていきました。目標の2万円にはわずかに届きませんでしたが、楽しい時間を過ごすことができました。(手づくりリズム工房)



『想いの数珠つなぎ、その2』

生野本通商店街から100円目玉商品のイベント“みこし活祭 100円商店街”に「出店しませんか」と声をかけていただいたのは9月も終る頃。

早速、下見に伺った私たちを案内してくださったのは、商店街の入口にある洋品店のオーナーでこのイベントの事務局長さん。6つの商店街が連なり約1kmにわたる細くてながい商店街の両側には、八百屋さん、お豆腐屋さん、和菓子屋さんなどが立ち並び、あちこちから楽しげなおしゃべりが聞こえてきます。「この店」「あの店」とガイド役も交えながら軒を連ねる各商店街の役員さんを次々と紹介していただき、4つの作業所さんが出店することができました。

当日、様子を見に行くと、どの作業所さんもその場になり、利用者さんはまわりのお店の方にかわいがられ、とても楽しそうにされていました。商店街のみなさんには売上にも大きく協力していただきました。

それから数週間後、商店街の化粧品屋さんから「一生懸命販売しているのを見て何かできることがないかと思って・・・」と粗品のタオルを袋に入れる仕事の相談を受けました。その気持ちがうれしい！想いを受け取り大切に作業所さんにつなぎます。

そして、商店街に隣接している大阪府立桃谷高等学校様からはお弁当の注文をいただきました。ここにも想いを運ぶ風が届いたようですね。

こちら編集部

passo に関するご意見、感想をお待ちしています！

お問い合わせ先



大阪府工賃倍増計画推進事業運営主体：大阪知的障害者雇用促進建物サービス事業協同組合（愛称：エル・チャレンジ）
大阪市中央区法円坂1丁目1番35 大阪市教育会館5階 Tel: 06-6949-3551 FAX: 06-6920-3522

<http://www.l-challenge.com/>

<http://www.l-challenge.com/kouchin/index.html>